

1. 本授業科目の基本情報

講義名（コード）	TCR205D	TCR_ビジネスコミュニケーションⅡ_D	
科目名（コード）	TCR205	TCR_ビジネスコミュニケーションⅡ_D	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2年生
対象コース	CH2	単位数	2単位30
授業担当者	槌谷 智子	時間数	
成績評価教員	槌谷 智子	講義期間	秋期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄			講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が就業後の課題遂行能力を高めるために、ビジネス場面での専門的な話題でやりとりができるようになる。
全体の内容と概要	N2の文字語彙と読解を中心に学ぶ。たくさんの文章に触れ、ビジネスに必要な言葉を身につけ、ビジネス文章を素早く理解する力をみにつける。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	学生の希望等によりスケジュールは変更する場合がある。出席が2/3以上の場合のみ成績評価を行う。満たない場合は単位不合格になる。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	案内文・手紙・随筆・小論文をすばやく読み解く力をつける	パワードリル第1回 ドリル&ドリル内容理解短文1・2番 中文1番
2	案内文・手紙・随筆・小論文をすばやく読み解く力をつける	パワードリル第2回 ドリル&ドリル内容理解短文3・4番 中文2番
3	案内文・手紙・随筆・小論文をすばやく読み解く力をつける	パワードリル第3回 ドリル&ドリル内容理解短文5・6番 中文3番
4	小論文・評論文を読み解く力をつける	パワードリル課題FB 第4回 ドリル&ドリル課題FB
5	小論文・評論文を読み解く力をつける	パワードリル第5回 ドリル&ドリル内容理解短文7・8番 中文4番
6	小論文・評論文を読み解く力をつける	パワードリル第6回 ドリル&ドリル内容理解短文9・10番 中文5番
7	小論・評論文を読み解く力をつける	パワードリル第7回 ドリル&ドリル内容理解中文6番 情報検索1番
8	必要な情報を読み取る力をつける	パワードリル第8回 ドリル&ドリル内容理解中文7番 情報検索2番
9	演習問題	JLPT模試
10	演習問題	JLPT模試
11	必要な情報を読み取る力をつける	パワードリル第9回 ドリル&ドリル内容理解中文8番 情報検索3番
12	必要な情報を読み取る力をつける	パワードリル第10回 ドリル&ドリル内容理解中文9番 情報検索4番
13	後期の内容を理解し、確実に身につける	後期のまとめ
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等		
教科書	日本語パワードリルN2文字・語彙 ドリル&ドリルN2読解	
参考文献・資料等		
備考	木曜日3限	